

吹田西ロータリークラブ ウィークリー



ロータリーの未来は
あなたの手に
THE FUTURE OF ROTARY
IS IN YOUR HANDS

2009～2010 — 創立30周年 —

■ 創立 1980.6.12
 事務所 ☎564-0051 吹田市豊津町9番40号 江坂東急ビル1F
 ☎(06)6338-0832 FAX(06)6338-0020
 URL http://www.suita-west-rc.com
 例会場 江坂東急イン
 ☎564-0051 吹田市豊津町9番6号 ☎(06)6338-0109
 例会日 毎月曜日 18:00～19:00
 役員 会長：仲辻 章 幹事：清水大吾 会報委員長：岡 信行

4つのテスト

- 真実かどうか
- みんなに公平か
- 好意と友情を深めるか
- みんなのためになるかどうか

～伝えつなぐ30年 笑顔一杯～ “たしかなこと”

■ 第1371回 例会 平成22年 5月10日 ■
 ■ 卓話 「PTA活動の取組方」学校～保護者～地域 ■
 ■ 紙谷会員 ■
 ■ 今週の歌 「君が代」「四つのテスト」 ■

先週内容

か 会長挨拶 仲辻会長



週刊新潮の最新号に掲載されている藤原正彦の管見妄語は興味深い提言です。「官僚叩きの愚」と題して、要約すると

「政治主導という言葉が政治家やマスコミの口によく上る。官僚まかせでなく民意をうけた政治家が主導権を握るべきという意味

次週 第1372回例会予告 平成22年5月17日

卓話「我ゴルフ人生」花屋敷ゴルフクラブ 紙谷 弥一郎様
榎谷パスト会長ゲスト

Weekly No. 1371は岡委員長が担当しました。
Weekly No. 1372は島田委員が担当の予定です。

(本日の原稿をお渡し下さい)

合いで使われる。」
「政が政策を決定し、それを官に指示し実行させる。」

「官僚でなく民意で選ばれた政治家が主導権を握るのは民主主義の原則。」
一見当然の説明です。

これに対して、「現在の日本では政治家より官僚の方がしばしば政策に関する専門知識、経験、そして見識において上なのである。」と述べられたあとで、一方最近の政治家の中には、小泉チルドレン、小沢チルドレンにみられるように、議員になるまでには政治として何の関係もない職業に携わっていたズブの素人が多い。芸能人、スポーツ選手、美人、テレビで名の売れた人である。それに世襲議員だ。橋本首相以降8人の首相のうち7人は世襲議員である。こんな状況では優秀な頭脳と情熱を持った若者がコネもカネも地盤もないが故に政治家を志せないということだ。と現在の日本の実情に触れ、政治家は官叩きに走るより、官僚の無法な天下りや優秀なものにありがちな狡猾傲慢を警戒しつつ、ポピュリズムとは無縁の官僚を知恵袋として、共に手を携えて国に奉仕してほしい。と結論付けています。

近頃新聞で、桂きん枝が参議院選出馬のニュースを聞き、共感を覚えた一文でした。

幹事報告 清水幹事

- 吹田青年会議所より事業のご案内が届いています。急ですが、明日4月27日(火)メイシアター中ホールにてパネルディスカッションが行われます。皆さんご参加をよろしくお願ひします。との事で、回覧致します。
テーマ 基調講演 川崎 和男 氏
「創造力・想像力のあるこどもを育てる」
パネルディスカッション
「これからの吹田」
- 例会終了後、理事会を開催致します。理事役員の方はご出席下さい。
- 次週5月3日は祝日で休会となります。

ゲスト 木田委員

ゲストスピーカー 藤野 耕一 様

出席報告 新井副委員長

- 会員数 49名 ● 来客 1名
- 出席会員数 40名 ● 本日の出席率 86.95%
- 4月5日の出席率(メーキャップを含む) 100%

誕生御祝ー5月

- 会員
- 昭和28年 5月2日 岡会員
 - 昭和15年 5月13日 宮川会員
 - 昭和41年 5月14日 清水会員
 - 昭和10年 5月27日 榎谷会員
- 以上4名
- 会員夫人
- 5月17日 長屋会員夫人
 - 5月26日 永田会員夫人
 - 5月26日 伊藤会員夫人
- 以上3名

結婚御祝ー5月

- 昭和38年 5月3日 小川会員ご夫妻
 - 昭和39年 5月6日 新井会員ご夫妻
 - 平成1年 5月14日 伊藤会員ご夫妻
 - 昭和35年 5月18日 澤井会員ご夫妻
- 以上4組

ロータリー財団委員会 井伊副委員長

本日、由上会員、大藤会員、長屋会員よりロータリー財団特別寄付を頂きました。ご協力ありがとうございました。

ロータリー財団のレート、5月1日より1ドル92円になります。ご協力お願い致します。

チリ大地震義援金ですが、先週から4月26日迄で合計450ドル集まりました。ご協力頂きまして、大変ありがとうございました。

次年度幹事報告 渋谷次年度幹事

- 会員名簿作成に伴っての届出カードの提出まだの方、できるだけ本日中に記入お願いします。
- 次年度理事会メンバーの会員へ再度の連絡です。
 - ①第1回次年度理事会
5月10日(月)19:00～
 - ②クラブ協議会
5月17日(月)19:15～20:00予定

30周年実行委員会 家村実行委員長

部会組織表を配布しました。5月24日、例会で最終打ち合わせを行います。

外国からの来賓の人数が42名になりそうです。ご協力をよろしくお願ひします。

ゴルフ同好会 阿部会員

吹田西RC30周年記念コンペの報告

会員、ご婦人含め25名のご参加を頂きありがとうございました。楽しい2日間でした。

1日目	Aクラス 優勝	新井会員
	Bクラス 優勝	石崎会員
2日目	Aクラス 優勝	新井会員
	Bクラス 優勝	家村会員

◆仲代会長

家内の誕生祝ありがとうございました。

◆鈴木会員

30周年記念ゴルフコンペ、幹事諸兄に感謝。お陰様で2日間楽しませて頂きました。

◆新井会員

第3回仲代会長杯争奪親睦コンペ(会長杯取りきり戦)に優勝して。

◆新井会員

30周年記念ゴルフコンペに優勝しました。

◆石崎会員

30周年記念ゴルフコンペ、Bクラス優勝でした。家内の誕生日祝のお礼。

◆家村会員

30周年記念ゴルフコンペで、はえあるBクラス優勝いたしました。

◆由上会員

無愛想な石崎さんの顔が、先週の土曜日にはホトケ様に見えました。

◆木田会員

結婚記念日のお祝いありがとうございました。

◆清水会員

30周年記念ゴルフコンペお疲れ様でした。楽しい2日間でした!!

◆田中(慶)会員

西協営業所の新築2棟が完成しました。

◆阪本会員

30周年記念ゴルフコンペ、お世話ありがとうございました。

◆宮川会員

再々の例会欠席にお詫び申し上げます。職業奉仕に頑張っています。

◆宮川会員

坂口先生の昨年の学生教育に感謝を申し上げますと共に、今年度のご指導よろしくお祈いします。

◆宮川会員

青木先生のご子女歯科衛生士学校、最も優秀な成績でのご卒業おめでとうございました。

本日のニコニコ箱 69,000円
累計のニコニコ箱 972,000円

卓話

「地球温暖化の状況とこれからの対応」

F.E.P 藤野環境計画 代表 藤野 耕一様
河邊会員ゲスト



ここ2~3年の著しい気候の変動は、明らかに地球の温暖化がかなり進んでいる事を示していると思われる。昨年の12月にはデンマークにおいてCOP15が開催され、途上国を含めた中長期目標の考え方を示すコペンハーゲン合意がまとめられた。それを受けて我が国では、今年3月12日に、中長期目標を含む地球温暖化対策基本法案が閣議決定され、それぞれ本格的な地球温暖化対策に向けて動き出した。しかしこの地球温暖化問題は、さまざまな事が複雑に入り混じった大変難しい問題であり、現在世界各地で起こっている種々の気候変動や自然環境の破壊、また温暖化の要因となっている温室効果ガス(CO2排出等)の増加等を止めるのは、かなり難しい事である。またすでに破壊されつつある地球環境を復元すること等は、さらに困難な事である。

ここで、少し現在の地球温暖化問題の状況について、そのポイントを記述する。

最近地球温暖化問題がこのようにクローズアップされてきたのは、2007年に出されたIPCCの第4次報告書が大きな引き金となっている。この報告書ではまず現在の気候変動は、豊かさを求める人類のさまざまな活動による温室効果ガスの増加によってもたらされた可能性が高いとはっきりと言い切っている。また既に過去100年間で平均気温は0.74℃上昇し、



21世紀中には最大で6.4℃まで上昇する可能性がある」と指摘している。

また地球温暖化による気温上昇のパラメーターとなるCO₂濃度は現在380ppm～390ppmであり、産業革命以前の280ppmと比べて100ppm以上も上昇している。1ppmはCO₂約80億トンに当たるので、産業革命以降8000億トンものCO₂が大気圏に蓄積されたことになる。地球は海水、樹木等CO₂を吸収する能力を有しているが、それは現在110億トン程度である。2007年の世界全体のCO₂排出量は288億トンであるから、178億トンものCO₂が毎年大気に蓄積されていることになる。これはCO₂濃度約2ppmに相当するので、毎年CO₂濃度は2ppm上昇していることになる。このCO₂濃度上昇を止める（温度上昇を止める）には、CO₂排出量を地球の自然吸収量以下にすることが必要なことから、現状から60%を越えるCO₂排出量の削減が必要となる。

さらに先程のIPCC報告では、大気中のCO₂の陸域や海への取り込みが減少し、大気中に蓄積される量が増える傾向があると指摘している。これは森林の減少や海水温度の上昇等による吸収量の減少を示しており、土壌温度上昇による有機物分解加速のCO₂放出量増加やシベリア平原での凍土融解によるメタンガスの発生など、地球上で温暖化の進行が更なる温暖化を加速する悪循環が既に世界各地で始まっている。温暖化により北極圏の氷は20～30年で消滅すると言われており、グリーンランドの氷がすべて融解すると海面は7mも上昇する。現在、地球温暖化の加速的な進行を示すさまざまな状況が世界各地から報告され、それに伴う被害も年々急速に増加している。先程のIPCCの報告でも今後の温暖化対策としては、適応策（海面上昇、洪水対策としての堤防建設等）と緩和策（温室効果ガス排出削減、吸収増加策）の組み合わせにより気候変動のリスクを低減すべきと警告している。

今後の地球温暖化問題の対応策として、世界は、日本は、企業は、我々個人はどのようなことをしなければならないのか。地球温暖化の進行を止めるには、現在の世界全体の温室効果ガス排出量を60%強削減する必要がある。

開発途上国の経済成長等を考えると、先進国は80%以上の削減が必要となってくる。これは大変な削減量である。地球温暖化対策はエネルギー対策とほぼ同等で、大気へのCO₂排出量を徹底的に削減する事であり、化石燃料依存型社会から出来るだけ早く脱却して、低炭素社会を構築することである。そのためには人間活動の低炭素化を社会・国民全体の価値観として行動することが大切である。

低炭素型社会構築のためには、まず第1に、社会全体で徹底した省エネ行動を実施することである。そのためには化石燃料使用効率を飛躍的に向上させ、それを積極的に導入するエネルギー効率重視の社会を構築し、同時に社会のムダなエネルギー使用を徹底的に排除する事である。第2には、自然エネルギー利用などの再生可能エネルギー（太陽光発電、風力発電、太陽熱利用、水力発電等）の量を可能な限り増加する事である。また地球環境の危機的状況と2050年までに温室効果ガスを60%強削減する必要性を考慮すると、核廃棄物処理等の問題はあがあるが、原子力エネルギーを有効かつ安全に活用する事も考えられる。今後、CO₂の大幅削減を達成するためには、技術革新の一層の推進と低炭素化技術の開発途上国への移転推進が重要な事である。また同時に、社会システムのイノベーションが大切である。このイノベーションは、新しいアイデアから社会的意義のある新たな価値を創造し、社会的に大きな変化をもたらす人・組織・社会の関係の幅広い変革を目指す事であり、全く新しい技術や考え方を取り入れて、新たな価値を生み出し、社会的に大きな変化を起こす事を意味している。

このままのエネルギー使用・温室効果ガス排出状況が継続すれば、地球温暖化の加速的な進行により、さまざまな危機的な状況を生む。このような事態は人類生存の危機であり、そうした未来を子供たちに残すべきでない。また私達は今、このような地球温暖化の危機的な状況とエネルギーの重要性を正しく理解して、高い環境意識の下に環境行動を実践する事が大切である。

以上。